

2026年度 全国都道府県対抗駅伝競走大会選考基準

<選手構成>

- (1) 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会（京都市で開催）
競技者13名選出
ジュニアA（高校生）4名以上 ※最低3名起用
ジュニアB（中学生2・3年）3名 ※中学1年生は出場できない
一般（大学生含む） ※ふるさと競技者は2区間以内
- (2) 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（広島市で開催）
競技者10名選出
ジュニアA（高校生）4名
ジュニアB（中学生2・3年）3名 ※中学1年生は出場できない
一般（大学生含む）3名 ※ふるさと競技者は1区間以内

<選手選考にあたっての方針>

- (1) 選考基準に基づいて、候補選手を選考する。
- (2) 候補選手の中から登録選手を選考する。（12月20日頃）

<選考基準>

- (1) 全国都道府県対抗駅伝競走大会選手選考の対象者は、選手選考レースに出場したものとする。
- (2) 選手選考レースは、「県高校駅伝」、「県中学駅伝」、「秋季の選考会」、「北信越高校駅伝」とする。したがって選手選考レースに出場していないものは選考の対象外である。
- (3) 全国都道府県対抗駅伝大会に出場の意思がある競技者は、申し込みを必ずすること。申し込み方法については県陸協HP、アスリートランキングにて知らせる。
ただし、一般選手はこの限りではない。
- (4) 選考に関わる競技成績および公認記録の有効期間は下記とする。
中学：2026年4月1日～2026年11月23日
高校：2026年4月1日～2026年12月6日

※「秋季の選考会」とは、県高校選抜（9/19-20）、Yogibo Athletics Challenge Cup2026（9/26-27）、第2回記録会（10/4）、第3回記録会（11/23）の選考対象レースを指す。

◇中学生

1. 全国中学で入賞したもの（男子3000m、女子1500m）
2. 「標準記録A」を突破しているもので、実績が認められるもの
3. 「標準記録B」を突破しているもので、実績が認められるもの
4. その他

◇高校生

1. インターハイ、国スポで入賞したもの（男子5000m、女子3000m）
2. 「標準記録A」を突破しているもので、実績が認められるもの
3. 「標準記録B」を突破しているもので、実績が認められるもの
4. その他

◇一般

- ・ 日本選手権、日本 I C、全日本実業団、大学駅伝、実業団駅伝等での実績が認められるもの

<その他>

1. 選考された選手は、県代表の自覚を強く持ち、都道府県駅伝に向けた強化練習・合宿に原則参加すること。
ただし、感染症拡大予防の観点から強化事業に参加を希望しない場合や参加を控えた方がよい場合は、担当スタッフと相談しその後の対応を決定する。
2. 全国高校駅伝、全国中学校駅伝に出場する選手は、大会終了以降の練習会・合宿への参加でもよい。
3. 他競技との掛け持ちをしている選手は、本大会が終わるまでは駅伝に専念をすること。特に中学生でスキー等の他競技の大会に参加の意思があるものは、本大会が終わるまでは、新潟県駅伝チームとしての活動に専念し、他競技の練習会や合宿等への参加は控えること。
4. 故障や体調不良等の理由により本大会に出場できなくなった場合は大会規定により登録選手と登録外選手のエントリー変更を行うため、候補選手全員が最終の強化練習・合宿まで参加すること。

選手選考対象標準記録

<男子>

	選考対象種目	標準記録 A	標準記録 B
中学	3000m	8'45"00	9'00"00
高校	5000m	14'30"00	14'50"00

<女子>

	選考対象種目	標準記録 A	標準記録 B
中学	3000m	10'00"00	10'15"00
高校	3000m	9'25"00	9'45"00